

部活動推進事業

令和2年度予算要求額 120,193千円

目的

中学校部活動を活性化させ、子どもの個性の伸長や体力向上、健康増進、自尊感情・規範意識の向上、礼儀を重んじ、人を思いやる心、自主自立的な態度を育成するとともに、全国大会等出場における保護者の負担を軽減する。

Point

部活動指導員の全校配置

○部活動の充実、活性化及び教員の負担軽減を図るため、教員に替わって部活動指導を行う指導者を全校に派遣

主な事業内容

- 専門的かつ高度技能及び指導力を有する外部指導者を必要とする部活動のある学校に派遣
35,424千円
- 全国大会・地方大会に参加した生徒には、奨励金と交通費を支給
4,961千円
- 種目別ドリームクラブ拠点校設置
1,563千円
- 部活動の運営に必要な消耗品を配当
11,761千円
- 楽器を維持・整備(購入及び修繕)するための費用
10,000千円
- 部活動指導者ハンドブック
400千円

意欲向上

地域貢献

達成感、充実感

教員負担軽減

部活動指導員の配置(拡充)

- 学校におけるスポーツ、文化、科学の振興等に関する教育活動に係る技術的な指導に従事する部活動指導員を配置し、中学校における部活動の指導体制の充実をはかるとともに、部活動指導における教員の負担軽減をはかる。
- 令和2年度は、令和元年度の配置校に加え12名増員する。

R01 18名 → R02 30名
予算 49,896,000円

【今後の展開】

R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
部活動指導員 全中高(44校)の10校に18名を配置する。効果検証の継続	部活動指導員 30名を配置。効果検証の継続	部活動指導員 全中高(44校)に1名配置(44名)	部活動指導員 小規模校を除く、全校2名の配置(82名)	部活動指導員 小規模校を除く、全校3名の配置(121名)



効果

- ・生徒、保護者の部活動に係る負担を軽減し、多様なニーズに応えることができる。
- ・魅力ある指導性の高い部活動を展開することで、部活動の充実と活性化を図ることができる。
- ・生徒の技能が向上するとともに達成感や充実感を感じることができ、生徒の自尊感情を高めることができる。
- ・教員の部活動指導に係る負担を軽減する。

